

生涯教育文献目録 (1997. 1～1997. 12)

日本生涯教育学会

凡 例

- (1) 学会員を対象に 1998 年 5 月から 7 月にかけて行った生涯教育文献調査の回答をもとに、1997 年に発行された文献を収録した。
- (2) 領域別の整理は執筆者自身による回答を尊重し、複数回答のものは、一番最初にあげられた領域のみを採用した。
- (3) 領域は次のとおりである。

- | | |
|--------------------------|---|
| 1 生涯教育一般 | 7 生涯教育と学校教育
(学校改革・学校開放も含む) |
| 1-a 生涯教育の理念 | 8 生涯教育と地域社会 |
| 1-b 生涯教育の歴史 | 9 生涯教育と企業内教育 |
| 1-c 生涯教育の内容 | 10 生涯教育と放送・通信教育 |
| 1-d 生涯教育の方法 | 11 生涯教育と関連教育施設
(生涯教育センター・社会教育
センター・公民館・文化セン
ターなど諸施設論を含む) |
| 1-e 自己(管理的)学習論 | 12 学習情報・相談 |
| 1-f ライフ・サイクル論 | 13 人材活用 |
| 1-g 学習社会論 | 14 生涯教育と行政施策
(答申・報告書等も含む) |
| 1-h その他 | 15 生涯教育の推進事例 |
| 2 生涯教育と青少年教育 | 16 諸外国の生涯教育 |
| 3 生涯教育と成人教育
(婦人教育も含む) | 17 その他 |
| 4 生涯教育と高齢者教育 | |
| 5 生涯教育と社会体育・スポーツ | |
| 6 生涯教育と家庭教育 | |

- (4) 文献は各領域ごとに I～VI に類別した。さらに執筆者(著書、翻訳者、編者)を 50 音順とした。
- (5) 記載事項は次のとおりである。
- 〈単行本〉①編著者名②書名③発行所名
- 〈雑誌・報告書等の論文・記事〉①執筆者名②標題③所収誌名④巻・号
⑤発行所名⑥所収頁
- (6) 頁数の表記は次のとおりとした。
- 3～5 頁→3-5 頁

1 生涯教育一般

I. 著 書

- ・大串兎紀夫,『生涯学習概説～「学び」の諸相～』,学文社。
- ・岡本包治,『生涯学習活動の支援』,全日本社会教育連合会,1-223頁。
- ・瀬沼克彰,『生涯学習の新しい支援方策』,教育開発研究所,1-229頁。

IV. 雑誌論文

- ・伊藤俊夫,「生涯学習を考える」,『視聴覚教育』7月号,日本視聴覚教育協会,4-7頁。
- ・伊藤俊夫,「豊かな人世を築く生涯学習」,『埼玉教育』No589,埼玉県立南教育センター,4-7頁。
- ・佐藤晴雄,「社会教育主事の現状と問題—首都圏の場合—」,『日本社会教育学会紀要』第33号,日本社会教育学会,18-19頁。
- ・佐藤晴雄,「役割イメージからみた社会教育主事のタイプ特性に関する実証的研究」,『帝京大学文学部(教育学)紀要』第22号,帝京大学教育学科,143-162頁。
- ・瀬沼克彰,「連載 生涯学習空間 Q&A」,『季刊生涯学習空間』No4~8,ホイックス,6頁。
- ・山本恒夫,「生涯学習と学社融合」,『千葉教育』No467,千葉県総合教育センター,4-8頁。
- ・山本恒夫,「生涯学習学と生涯学習支援」,『日本生涯教育学会年報』第18号,日本生涯教育学会, i-v頁。
- ・松元朋子,「学習機会の構造的研究」,『安田女子大学大学院文学研究科紀要』第2集,安田女子大学大学院文学研究科,55-72頁。

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「生涯学習社会の構築の意義と生涯学習・社会教育の系譜」,『生涯学習概論』,国立社会教育研修所,3-8頁。
- ・伊藤俊夫,「生涯学習と学習機会の拡充」,『学校開放講座の拡充発展』青

森県教育委員会, 5-10 頁。

- ・古崎和代・野田豊子, 「女性の生活意識と生涯学習(第二報)」, 『静修短期大学研究紀要』Vol. 28, 静修短期大学, 73-86 頁。
- ・山本恒夫, 「生涯学習学の研究対象についての検討」, 安田女子大学編『安田女子大学大学院博士課程開設記念論文集』, 安田女子大学, 125-135 頁。

1 - a 生涯教育の理念

IV. 雑誌論文

- ・白石克己, 「共沢の生涯学習-社会人大学院の課題」, 『社会教育』第 52 巻 6 月号(612 号), 全日本社会教育連合会, 12-14 頁。
- ・出相泰裕, 「リカレント教育再考-理念の変容と政策化への制約-」, 『フィロソフィア』第 84 号, 早稲田大学哲学会, 21-34 頁。

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫, 「教育の原理と社会教育の意義・特質」, 『生涯学習概論』, 国立社会教育研修所, 37-42 頁。
- ・岡本包治, 「生涯学習と社会教育」, 福留強編『改訂社会教育委員必携』, 全日本社会教育連合会, 9-13 頁。

1 - b 生涯教育の歴史

V. 編纂書論文

- ・田中雅文, 「我が国の社会教育史」, 『社会教育主事のための生涯学習概論』, 国立教育会館社会教育研修所, 50-55 頁。
- ・前田寿紀・長谷川匡俊・金子光一, 「千葉県における方面委員活動の研究(1)」, 『淑徳大学社会学部研究紀要』第 31 号, 淑徳大学, 35-54 頁。
- ・前田寿紀, 「『日本報徳運動雑誌集成』解題」, 『日本報徳運動雑誌集成』別巻, 緑蔭書房, 1-44 頁。

1 - c 生涯教育の内容

IV. 雑誌論文

- ・大串兎紀夫,「生涯学習と識学(リテラシー)」,天理大学『生涯教育研究』第1号,天理大学人間学部生涯教育専攻研究室,23-28頁。

V. 編纂書論文

- ・浅井経子,「社会教育の内容・方法・形態」,『社会教育主事のための生涯学習概論』,国立教育会館社会教育研修所,114-121頁。

1 - d 生涯教育の方法

III. 翻訳書

- ・ジュニー・ロジャーズ著(藤岡英雄監訳・徳島大学生涯学習研究会訳),『おとなを教える』,学文社。

IV. 雑誌論文

- ・伊藤俊夫,「ボランティア活動の促進をいかに図っていくか」,『教職研究』4月号,教育開発研究所,56-57頁。
- ・岡本包治,「市民グループに公開講座の委託」,『社会教育』第52巻第3号,全日本社会教育連合会,38-41頁。
- ・岡本包治,「昼休み時間の活用学」,『Development』第16巻第7号,産能大学,22-23頁。

V. 編纂書論文

- ・山本恒夫,「学習の仕方と学習成果の活用法」,群馬県生涯学習センター編『ボランティア活動をすすめるために』,群馬県生涯学習センター,1-7頁。

1 - e 自己（管理的）学習論

IV. 雑誌論文

- ・岡本包治,「学習過程としてのボランティア活動」,『社会教育』第52巻第4号,全日本社会教育連合会 8-11頁。
- ・岡本包治,「学ぶ必要性和その喜び」,『Development』第16巻第2号,産能大学,22-23頁。
- ・岡本包治,「企業人の自己啓発活動」,『Development』第16巻第4号,産能大学,22-23頁。
- ・岡本包治,「余暇の生かし方」,『Development』第16巻第6号,産能大学,22-23頁。

1 - g 学習社会論

I. 著書

- ・立元幸治,『転換期のメディア環境』,福村出版。

IV. 雑誌論文

- ・池田秀男,「生涯学習社会の形成に高等教育が果たすべき役割ー地方教育行政からの視点を踏まえてー」,『教育委員会月報』平成9年11月号(臨時増刊),文部省教育助成局地方課,4-14頁。

1 - h その他

I. 著書

- ・野村佐和子,『都道府県レベル生涯学習援助システムへの連絡関数導入の検討』,筑波大学生涯学習学研究室,1-96頁。
- ・山本恒夫,『関係計算の方法』,筑波大学生涯学習学研究室,1-36頁。

IV. 雑誌論文

- ・ 澤野由紀子,「第2回世界生涯学習会議報告—人間の潜在力への投資のための戦略を探索」,『社会教育』第612号,(財)全日本社会教育連合会,48-50頁。
- ・ 野崎俊一,「生涯学習学の最前線を学ぶ」①,『カルチャーエイジ』第29号,全国民間カルチャー事業協議会,12-15頁。
- ・ 野崎俊一,「生涯学習学の最前線を学ぶ」②,『カルチャーエイジ』第30号,全国民間カルチャー事業協議会,28-32頁。
- ・ 野崎俊一,「生涯学習学の最前線を学ぶ」③,『カルチャーエイジ』第31号,全国民間カルチャー事業協議会,27-29頁。
- ・ 山田誠,「社会教育主事講習受講者の問題意識」,『愛媛大学教育学部紀要』第I部 教育科学 第44巻第1号,愛媛大学教育学部,29-43頁。

V. 編纂書論文

- ・ 山本恒夫,「家庭・学校・社会の連携と生涯学習支援システム」,国立教育会館社会教育研修所編『社会教育主事のための生涯学習概論』,国立教育会館社会教育研修所,23-28頁。
- ・ 山本恒夫,「生涯学習社会における社会教育の役割」,国立教育会館社会教育研修所編『社会教育主事のための生涯学習概論』,国立教育会館社会教育研修所,9-16頁。

2 生涯教育と青少年教育

I. 著 書

- ・ 斎藤慶三郎,『社会教育随想』,東洋出版,1-151頁。

II. 編 書

- ・ 上杉賢士,田中雅文,『小学生にボランティア・スピリットを育てる』,明治図書。
- ・ 上杉賢士,田中雅文,『中学生にボランティア・スピリットを育てる』,明

治図書。

IV. 雑誌論文

- ・伊藤俊夫,「情報化社会に生きる子どもたち」,『社会教育』No.613, 全日本社会教育連合会, 10-12 頁。
- ・伊藤俊夫,「青少年の希望と大人の責任」,『向上』1月号, (財)修養団, 31-35 頁。
- ・佐藤晴雄,「どうなっているのか子どもたちの金銭感覚」,『日刊教育ジャーナル』, 学習研究社, 16-17 頁。
- ・白木賢信,「青少年の組織キャンプ運営に対するキャンプカウンセラーの貢献度－役割遂行の観点から－」,『キャンプ研究』第1巻第1号, 社団法人日本キャンプ協会, 34-37 頁。
- ・白木賢信,「青少年の野外教育における生活技術習得研究序説」,『教育学研究集録』第21集, 筑波大学大学院博士課程教育学研究科, 79-88 頁。
- ・山本恒夫,「青少年教育施設における学社融合のすすめ方」,『青年の家の現状と課題』第25集, 全国青年の家協議会, 7-11 頁。

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「学校外活動とその意義」,『郵便友の会における学校外活動の推進』, (財)日本郵便友の会協会, 5-11 頁。
- ・伊藤俊夫,「学社融合の基本的考え」,『平成8年度研究紀要』, 全国少年自然の家連絡協議会, 1-8 頁。
- ・伊藤俊夫,「青少年の生きる力を育てる」,『生涯学習セミナー』, 国立夜須少年自然の家, 5-11 頁。
- ・池田秀男,「イコールパートナーシップひろしま 21の総括」,『イコールパートナーシップひろしま 21・平成8年度文部省委嘱事業報告書』, 東広島市教育委員会, 73-77 頁。
- ・斎藤哲郎,「子供の生活能力の実態と今後の課題」, 科学研究費補助金基礎研究(A)報告書『学校週5日制の導入に伴う児童・生徒の生活能力の向上に関する総合的研究』, 学校週5日制の導入に伴う児童・生徒の生活能力の向上に関する総合的研究会, 11-50 頁。

VI. 調査報告

- ・伊藤 学,「現代の若者と青少年施設」,平成8年度家庭教育に関する調査研究報告書『子どもと若者の居場所～それぞれの拠点から』研究委員座長 久田邦明,東京都教育庁生涯学習部,29-48頁。
- ・渋谷健治,「子供の自主性とキャンプの効果に関する研究」,『子供の自主性とキャンプの効果に関する研究』,国立吉備少年自然の家,1-17頁。
- ・渋谷健治,「青少年教育施設における体験学習が児童生徒に及ぼす効果に関する研究」,『青少年教育施設における体験学習が児童生徒に及ぼす効果に関する研究』,国立吉備少年自然の家,1-47頁。

3 生涯教育と成人教育（婦人教育も含む）

I. 著 書

- ・池田秀男,『男女共同参画社会づくりの目指すもの』,(財)広島県女性会議。
- ・岡本包治,『地域は私たちのステージ新たな前進のために』,全国地域婦人団体連絡協議会,1-56頁。
- ・香川正弘,『老後を豊かに暮らすための中年講座の実験』,財団法人シニアプラン開発機構,1-53頁。

IV. 雑誌論文

- ・浅井経子,「学習率,学習内容,方法・形態別ニーズの変化と学習機会の整備」,『日本生涯教育学会年報』第18号,日本生涯教育学会,47-59頁。
- ・岡本包治,「住民の自主企画『地域づくり事業』」,『社会教育』第52巻第2号,全日本社会教育連合会,52-55頁。
- ・岡本包治,「現代的課題をとりあげた総合講座」,『社会教育』第52巻第4号,全日本社会教育連合会,36-39頁。
- ・岡本包治,「女性県政会議と政治学習」,『社会教育』第52巻第10号,全日本社会教育連合会,70-73頁。
- ・香川正弘,「中年サラリーマンを対象とした生涯学習のあり方」,『生涯学習フォーラム』創刊号,紀尾井生涯学習研究会,108-144頁。

- ・澤野由紀子,「ユネスコ第5回国際成人教育会議・21世紀の成人学習を考える」,全国公民館連合会編『月刊公民館』第485号,第一法規,42-43頁。
- ・澤野由紀子,「21世紀を開く『成人学習』,ユネスコ第5回国際成人教育会議」,『内外教育』第4851号,時事通信社,10-12頁。
- ・瀬沼克彰,「住民対象の社会参加型余暇活動の人材育成」,『DP ジール』9月号,余暇開発センター,26-31頁。
- ・瀬沼克彰,「地域リーダーとその活動」,『DP ジール』10月号,余暇開発センター,35-40頁。
- ・Masafumi Tanaka, "Adult Education in Japan from the Standpoint of Community Development", Research Bulletin of the National Institute for Educational Research of Japan No.28, 57-75頁。
- ・藤岡英雄,「公開講座固定受講者の研究(1)『固定受講者層』の形成とその特性」,『徳島大学大学開放教育実践センター紀要』第8巻,徳島大学大学開放実践センター,19-37頁。
- ・藤岡英雄,「潜在的学習関心の発掘と行動化」,『月刊公民館』第486号 平成9年11月号,(社)全国公民館連合会,5-10頁。

V. 編纂書論文

- ・浅井経子,「学習者の特性と学習の継続・発展」,『社会教育主事のための生涯学習概論』,国立教育会館社会教育研修所,103-113頁。
- ・浅井経子,「住民の学習と県民カレッジ」,青森県教育委員会『青森県民カレッジシステムに関する研究開発』,青森県教育委員会,73-80頁。
- ・池田秀男・葛原生子他,『平成8年度ウィメンズカレッジひろしま報告書』,広島県立生涯学習センター・安田女子大学,広島県立生涯学習センター。
- ・池田秀男,「男女共同参画社会の実現をめざして」,『第44回全国指定都市地域婦人団体連絡協議会研究集会記録』,全国指定都市地域婦人団体連絡協議会,7-19頁。
- ・池田秀男,「21世紀・男女がともに生きる学習プログラムづくりの理論と実際」,『男女共同参画社会形成へ向けての学習活動～ともに学びともに活動を～(平成8年度女性の生涯学習促進総合事業)』,山口県教育委員

会, 21-30 頁。

- ・瀬沼克彰, 「これからの生きがいつくり」, 教職員生涯福祉財団編『セカンドライフマップ』, 教職員生涯福祉財団, 13-20 頁。
- ・瀬沼克彰, 「余暇の充実のために」, 教職員生涯福祉財団編『ライフマップ』, 教職員生涯福祉財団, 15-22 頁。

VI. 調査報告

- ・瀬沼克彰, 「鹿沼市グリーンライフカレッジの実態」, 日本余暇文化振興会編『全国の市区町村における市民大学の事例研究』, 日本余暇文化研究会, 12-19 頁。
- ・瀬沼克彰, 「名和町スコレー大学の実態」, 日本余暇文化振興会編『全国の市区町村における市民大学の事例研究』, 日本余暇文化振興会, 34-41 頁。
- ・田中雅文, 「こがヒューマンカレッジーボランティアが創る市民大学ー」, 『全国の市区町村における市民大学等の学習講座に関する事例研究』, (財) 日本余暇文化振興会, 52-59 頁。
- ・田中雅文, 『地域における生涯学習の効果に関する理論的・実証的研究』, 国立教育研究所, 242 頁。

4 生涯教育と高齢者教育

IV. 雑誌論文

- ・白石克己, 「高齢者の『学縁』づくり」, 『玉川通信』No.535, 玉川大学通信教育部, 37-39 頁。
- ・瀬沼克彰, 「高齢者の学習は量から質へ」, 『季刊カルチャーエイジ』30 号, 全国民間カルチャー事業協議会, 22-25 頁。
- ・瀬沼克彰, 「高齢社会と生涯学習」, 『ダイヤニュース』, ダイヤ高齢社会研究財団, 2-5 頁。

V. 編纂書論文

- ・池田秀男, 「高齢期の生涯学習支援哲学ー理論図式の確立を目指してー」,

『安田女子大学大学院博士課程開設記念論文集』, 安田女子大学, 81-91 頁。

- ・瀬沼克彰, 「中高年の生きがいつくり」, ダイヤ高齢社会研究財団編『中高年の生きがいつくり』, ダイヤ高齢社会研究財団, 33-40 頁。
- ・瀬沼克彰, 「余暇をライフワークに」, 同時代研究会編『昭和 13 年生まれ』, ホンゴ出版, 50-53 頁。

VI. 調査報告

- ・浅井経子, 「生活行動と社会・地域への関心, 生活改善, 充実感や生活の張り, 健康状態との関係」, 『高齢者の学習・社会参加活動の国際比較』, 国立教育会館社会教育研修所, 267-297 頁。
- ・田中雅文, 「高齢者の社会参加活動の構造」, 『高齢者の学習・社会参加活動の国際比較-成人教育に関する国際比較調査報告書-』, 国立教育会館社会教育研修所, 298-308 頁。
- ・山本恒夫, 「提言」, 国立教育会館社会教育研修所編『成人教育に関する国際比較調査報告書』, 国立教育会館社会教育研修所, 339-354 頁。

5 生涯教育と社会体育・スポーツ

IV. 雑誌論文

- ・関根正美, 「スポーツにおける多元的生～生涯スポーツの哲学的基礎に向けて～」, 体育・スポーツ哲学研究第 18 巻第 2 号, 日本体育・スポーツ哲学会, 13-24 頁。
- ・関根正美, 「わが国における生涯体育論の意義と限界について～生涯教育の観点から～」, 『体育思想研究』第 2 号, 『体育思想研究』編集委員会, 1-16 頁。

VI. 調査報告

- ・瀬沼克彰, 『地域スポーツクラブの育成と地域活性化に関する調査』, 三菱総合研究所, 210 頁。

6 生涯教育と家庭教育

II. 編 書

- ・村田文生,「自治体行政と図書館」,高山正也編著『図書館経営論』,樹村房,8-20頁。

IV. 雑誌論文

- ・岡本包治,「父親としての企業人」,『Development』第16巻第5号,産能大学,22-23頁。

7 生涯教育と学校教育(学校改革・学校開放も含む)

I. 著 書

- ・池木 清,『女子短大教育と卒業生の職業状況』,北樹出版。
- ・清水一彦,『日米の大学単位制度の比較史的研究』,風間書房,1-582頁。
- ・山田礼子,『社会人への大学院案内』,PHP研究所。
- ・川廷宗之,『社会福祉教授法』,川島書店。

II. 編 書

- ・清水一彦他編『教育データランド'97~'98』,時事通信社,1-415頁。

IV. 雑誌論文

- ・赤尾勝己,「学校図書館学の構築に向けて」,『学校教育と学校図書館』学図教ブックレット№4,日本学校図書館教育協議会,27-50頁。
- ・浅井経子,「新しい視座 学社融合^{③⑧⑨④⑩}」,『週刊教育資料』523号,524号,525号,教育公論社,各34-35頁。
- ・浅井経子,「学社融合システムにおける自発的組織化の研究」,『淑徳短期大学研究紀要』第36号,27-40頁。
- ・池木 清,「高校男女共修家庭科の実態とその第1期生による評価」,『女子教育研究』第19号,日本橋女学館短期大学,11-22頁。

- ・池木 清,「従来の高校家庭科に対する女子短大生の評価」,『女子教育研究』第19号,日本橋女学館短期大学,1-9頁。
- ・池木 清,「女子短大生の基礎学力をめぐって」,『女子教育研究』第20号,日本橋女学館短期大学,1-12頁。
- ・池田秀男,「『生きる力』を育む地域社会の教育とは—生涯学習論をベースとして—」,『学校経営』平成9年3月号,第一法規,14-22頁。
- ・今西幸蔵,「ワークショップで学ぶ識字問題」,『社会教育』第52巻第3号,(財)全日本社会教育連合会,56-58頁。
- ・岡本包治,「生涯学習時代と高等教育機関の在り方」,『生涯学習空間』No.6,ボイックス,6-8頁。
- ・佐藤晴雄,「統計・資料にみる部活動の実態」,『学校経営』第42巻第6号,第一法規出版,30-39頁。
- ・佐藤晴雄,「統計・資料にみる指導主事の実態と教育行政の課題」,『学校経営』第42巻第11号,第一法規出版,36-45頁。
- ・佐藤晴雄,「ゆとりある教師は楽しく働く」,月刊『悠』8月号,ぎょうせい,22-25頁。
- ・清水一彦,「過度の受験競争を変えるものは何か」,『学校経営』第42巻第4号,第一法規,44-52頁。
- ・清水一彦,「高等教育全体のシステムの弾力化をどう進めるか」,『教職研修』300号,教育開発研究所,78-81頁。
- ・瀬沼克彰,「地域で学校が変わる必要性和その対策」,『悠』7月号,ぎょうせい,30-33頁。
- ・瀬沼克彰,「ボランティア活動実践へのウォーミングアップ」,『学校運営研究』5月号,明治図書 34-36頁。
- ・福留 強,ブストス・ナサリオ,「大学における生涯学習研究センターの事業—単位取得を可能にする移動講座の現状と課題」,九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学『生涯学習研究センター紀要』第2号,九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学生涯学習研究センター,69-86頁。
- ・山田礼子,「大学改革・開かれた大学を目指して」,『JOIN』10月号,文教大学。

- ・山田礼子,「大学改革の現状」,『研究ジャーナル』10月号,PHP研究所,2-4頁。
- ・山本恒夫,「新しい時代の学校施設—家庭や地域との連携—」,『教育と施設』第57号,文教施設協会,69-71頁。
- ・山本恒夫,「『生きる力』を育てる中学校の課題」,『中学校』No.523,全日本中学校長会,12-15頁。
- ・山本恒夫,「学社融合の実際」,『総合教育技術』1997年3月号,小学館,32-35頁。

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「学校教育と学社融合論」,『学校開放講座の拡充発展』,青森県教育委員会,79-82頁。
- ・岡寄八重子,「短期大学の未来へ生涯学習的アプローチ」,『東海大学短期大学紀要』,東海大学出版会,65-71頁。
- ・佐藤晴雄,「親・地域からの挑戦」,牧昌見編『教職「大変な時代」』,教育開発研究所,55-66頁。
- ・佐藤晴雄,「子どもの社会性は育っているか」,高階玲治編『「生きる力」100の課題徹底理解』,教育開発研究所,64-65頁。
- ・澤野由紀子,「今日の条件下における教育施設と児童社会組織との連携の社会・教育学的基礎」,『学校と地域社会との連携に関する国際比較研究・中間資料集Ⅱ』,国立教育研究所,346-363頁。
- ・澤野由紀子,“Transition in Initial Education in Japan”, Comparative Studies on Lifelong Learning, Tokyo, NIER and UIE, 4-13頁。
- ・澤野由紀子,“Transition in Tertiary Education in Japan”, Comparative Studies on Lifelong Learning, Tokyo, NIER and UIE, 14-25頁。
- ・瀬沼克彰,「学校・家庭・地域の連携」,菱村幸彦編『校長・教頭の法律常識』,教育開発研究所,202-210頁。
- ・瀬沼克彰,「学ぶ人にやさしい学習環境づくりへの提言」,日本生涯学習総合研究所編『生涯学習時代の学習環境を考える』,日本生涯学習総合研究所,37-40頁。
- ・ブストス・ナサリオ,福留強,『開かれた大学と生涯学習センター』,福留

強編『社会教育委員必携－生涯学習の推進と社会教育委員の活動－』，
全日本社会教育連合会，52－60 頁。

- ・山本恒夫，「生涯学習社会における学校の役割」，国立教育会館社会教育研修所編『社会教育主事のための生涯学習概論』，国立教育会館社会教育研修所，17－22 頁。

VI. 調査報告

- ・浅井経子，「学社融合のための学習プログラムに関する調査」，『学社融合のための学習プログラムに関する調査研究報告書』，国立妙高少年自然の家，5－22 頁。

8 生涯教育と地域社会

I. 著 書

- ・瀬沼克彰，『地域の生涯学習を革新する』，学文社，272 頁。

II. 編 書

- ・蛭田道春他，「指導者養成系講座の今後のあり方について」中間報告書，財団法人埼玉県民活動総合センター，47 頁。
- ・蛭田道春，「ボランティアの課題」，『社会教育』52 巻 4 号，全日本社会教育連合会，28－31 頁。
- ・村田文生，「図書館の職員」，高山正也他編著『図書館経営論』，樹村房，59－75 頁。

IV. 雑誌論文

- ・今西幸蔵，「『まちはいきいきイベントで元気まちおこし』大阪・住吉大社かがり火フェスティバル」，『社会教育』第 52 巻第 9 号，（財）全日本社会教育連合会，64－67 頁。
- ・岡本包治，「自治体が実施する生涯学習のイベントの研究」，『社会教育』第 52 巻第 5 号，全日本社会教育連合会，52－55 頁。
- ・岡本包治，「ミニボランティア団体の活動と財源の研究」，『社会教育』第

52 巻第 6 号, 全日本社会教育連合会, 36-39 頁。

- 岡本包治, 「住民による『地域の宝さがし』活動の研究」, 『社会教育』第 52 巻第 11 号, 全日本社会教育連合会, 42-45 頁。
- 岡本包治, 「宮澤賢治とボランティア活動」, 月刊『すこ〜れ』No.201, 国際スコレ協会, 13-16 頁。
- 加藤千佐子, 「生涯学習ボランティア活動と福祉ボランティア活動の体系化に関する研究」, 日本社会教育学会編『日本の社会教育』第 41 集, 東洋館出版社, 101-109 頁。
- 佐藤晴雄, 「地域社会との連携で配慮すべきことは何か」, 『教職研修』第 297 号, 教育開発研究所, 75-78 頁。
- 佐藤晴雄, 「統計・資料にみる家庭教育・地域社会の教育力の現状」, 『学校経営』第 42 巻, 第一法規出版, 55-66 頁。
- 瀬沼克彰, 「動き出した住民主導の地域活動」, 『警共だより』3 月号, 警察共済組合本部, 10-15 頁。
- 瀬沼克彰, 「コミュニティ形成のための生涯学習」, 『都市問題研究』No.563 号, 都市問題研究会, 72-86 頁。
- 瀬沼克彰, 「住みよい地域づくりのために」, 『警共だより』8 月号, 警察共済組合本部, 26-32 頁。
- 瀬沼克彰, 「生涯学習社会における学校経営」, 『別冊教職研修』No.12, 教育開発研究所, 84-87 頁。
- 瀬沼克彰, 「市民公益活動(NPO)と生涯学習」, 『社会教育』5 月号, 全日本社会教育連合会, 12-15 頁。
- 田中美子, 「まちづくりにおける『地域学』の可能性ー『イメージ・ダイナミクス』からのアプローチ」, 『社会教育』第 52 巻 617 号, 全日本社会教育連合会, 8-12 頁。
- 中村正之, 「変わるか, 学校教育〜学社融合推進の意義と方向〜」, 『平成 8 年度紀要』第 4 号(1), 栃木県総合教育センター, 1-14 頁。
- 山本恒夫, 「地域社会における生涯学習の現状と課題」, 『かんば資金』No. 226, 簡保資金振興センター, 10-15 頁。

V. 編纂書論文

- ・赤尾勝己,「地域の再編と生涯学習」,長尾彰夫・池田寛・森実編『地域教育システムの構築』,明治図書,125-140頁。
- ・佐藤晴雄,「『生きる力』を育てるうえで地域社会において休業土曜日をどのように活用したらよいか」,金井肇編『心と「生きる力」を育てる』,教育開発研究所,232-235頁。
- ・瀬沼克彰,「一般教育への生涯学習視点からの提案」,『大学教育学会会誌』19巻2号,大学教育学会,17-21頁。

VI. 調査報告

- ・瀬沼克彰,『地域動向把握指標に関する検討結果報告書』,総務庁高齢社会対策室,48頁。
- ・瀬沼克彰,『社会参加活動に関するチェックリスト報告書』,総務庁老人対策室,65頁。

9 生涯教育と企業内教育

I. 著書

- ・岡本包治,『現任教育計画の進め方-立案・運営評価』,平成出版,1-205頁。

IV. 雑誌論文

- ・岡本包治,「企業と地域社会」,『Development』第16巻第3号,産能大学,22-23頁。
- ・瀬沼克彰,「自己啓発のための企業の生涯学習支援策」,『TRI-VIEW』8月号,東急総合研究所,23-29頁。
- ・村田文生,「企業と生涯学習」,『社教情報』36号,全国社会教育委員連合,15-20頁。

V. 編纂書論文

- ・蛭田道春,「生涯学習と企業・民間教育事業」吉川弘編『生涯学習概論』,文教書院,84-104頁。

10 生涯教育と放送・通信教育

IV. 雑誌論文

- ・白石克己,「遠隔教育における『対面』の意義」,『大学時報』No.252,日本私立大学連盟,74-79頁。
- ・白石克己,「進む通信教育の開放」,『玉川通信』No.537,玉川大学通信教育部,25-27頁。
- ・高桑康雄,「放送・通信の活用と著作権」,『学習情報研究』133号(12巻7号),(財)教育ソフトウェア情報研究センター,18-22頁。
- ・高桑康雄,「北海道大学時代における城戸幡太郎の視聴覚教育・放送教育振興の活動」,『江戸川大学紀要・情報と社会』7号,江戸川大学,11-25頁。
- ・佐伯信男,「放送公開講座の実施形態に関する研究」,金沢大学・大学教育開放センター『放送利用の大学公開講座に関する報告書』(平成7・8年度),メディア教育開発センター・金沢大学 45-60頁。

VI. 調査報告

- ・白石克己,「通信教育に関するアンケート調査」「修了者の実態調査」,『民間社会通信教育の実態調査(報告書)』,(社)日本通信教育振興協会,71-125頁。

11 生涯教育と関連教育施設

(生涯教育センター・社会教育センター・公民館・文化センターなど諸施設論を含む)

IV. 雑誌論文

- ・浅井経子,「災害対策と公民館」,『月刊公民館』第481号,全国公民館連合会,5-11頁。
- ・池田秀男,「公民館活動の振興と広報活動」,『月刊公民館』,平成9年1月号,全国公民館連合会 5-10頁。
- ・伊藤俊夫,「生涯学習がもたらした課題-公民館と受益者負担-」,『月刊公民館』No.477,第一法規,6-11頁。
- ・岡本包治,「公民館分館における地域学習事業」,『社会教育』第52巻第8号,全日本社会教育連合会,46-49頁。
- ・原 義彦,「最尤法を導入した公民館経営診断技法」,宮崎大学生涯学習教育研究センター『生涯学習研究』第2号,11-21頁。
- ・原 義彦,「公民館事業 Q&A 現代的課題?」,『月刊公民館』第483号,24-27頁。
- ・原 義彦,「公民館事業 Q&A 地域の特色を活用する」,『月刊公民館』第478号,30-33頁。
- ・原 義彦,「診断における標本照合の方法についての一考察-公民館経営診断技法を手がかりに-」,宮崎大学生涯学習教育研究センター『生涯学習研究』第2号,23-31頁。

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「生涯学習時代の図書館」,『関東地区公共図書館協議会研究集会報告書』,関東地区公共図書館協議会,41-44頁。
- ・瀬沼克彰,「日本型生涯学習とカルチャーセンター」,全国民間カルチャー事業協議会編『カルチャー講座の企画編成と経営』,全国民間カルチャー事業協議会,33-50頁。

- ・谷島清郎・佐伯信男ほか、「－大学教育開放センターの利用による－医療技術者リフレッシュ教育の試み」、『金沢大学大学教育開放センター紀要』第17号，金沢大学大学教育開放センター，1－6頁。

VI. 調査報告

- ・赤尾勝己，「生涯学習事業における公立・民間学習施設の役割」，『学習者からみた公立・民間施設の生涯学習事業』，全国文化・学習情報提供機関ネットワーク協議会，58－64頁。
- ・浅井経子，「被災経験と公民館の状況」，『公民館の災害対策に関する調査研究報告書』，（社）全国公民館連合会，3－9頁。
- ・遠藤和士・岩槻知也・赤尾勝己，『豊中市生涯学習関連事業調査報告書』，豊中市教育委員会，1－98頁。
- ・香川正弘，「洛西生きがいカレッジ（仮称）の新設」，『国民年金京都会館の発展のための将来構想』，京都エミナース，36－53頁。
- ・瀬沼克彰，『青少年活動拠点施設の調査研究』，とちぎ構造研究機構，119頁。
- ・高村久夫，高桑康雄他，『視聴覚教育メディア利用推進体制の現状と課題』，全国視聴覚教育連盟，1－41頁。
- ・原 義彦，「公民館の災害対策の現状と課題」「避難場所としての可能性」「公民館の災害対策を規定する要因」，全国公民館連合会『公民館の災害対策に関する調査研究報告書』，10－19頁，26－29頁，39－43頁。

12 学習情報・相談

IV. 雑誌論文

- ・赤尾勝己，「米国ウィスコンシン州における生涯学習情報提供システム」，『関西大学文学論集』第46巻第4号，関西大学，63－81頁。
- ・岡本包治，「学習ボランティアによる『学習相談』の研究」，『社会教育』第52巻第12号，全日本社会教育連合会，44－47頁。
- ・佐藤晴雄，「教育管理職誌上講座（連載）」，『教職研修』第297号～第304号，教育開発研究所，4頁。

- ・柳田雅明・山本康裕・赤尾勝己,「生涯学習援助型データベースおよび情報通信ネットワークの研究(2)」,『電気通信普及財団研究調査報告書』,電気通信普及財団, 533-541 頁。

13 人材活用

- ・岡田和幸・草野勝彦・上條秀元・原 義彦,「ボランティア活動への参加意欲に関する研究－受け入れ側の配慮が及ぼす影響に着目して－」, 宮崎大学生涯学習教育研究センター『生涯学習研究』第2号, 33-39 頁。
- ・岡本包治,「住民が学校教育の指導者」,『社会教育』第52巻第1号, 全日本社会教育連合会, 48-51 頁。
- ・白石克己,「学習としてのボランティア活動」,『玉川通信』No.536, 玉川大学通信教育部, 39-41 頁。

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「社会教育主事の研修のもつ意味」,『社会教育主事のための研修の在り方と研修プログラム試案』, 国立社会教育研修所, 7-16 頁。
- ・岡本包治,「『学び』とボランティア活動－学習成果を生かして」, 群馬県生涯学習センター編『ボランティア活動をすすめるために』, 群馬県生涯学習センター, 16-24 頁。
- ・澤野由紀子,「ボランティア・バンク活性化の可能性－米国の『学習ボランティア』制度との比較から－」, 山本慶裕編『市区町村における生涯学習ボランティア・バンクの活性化に関する実証的研究』, 国立教育研究所, 35-43 頁。

VI. 調査報告

- ・白石克己,「生涯学習とボランティア活動」,『ボランティア・コーディネーターの養成, 研修の在り方とプログラム試案』, 国立教育会館社会教育研修所, 3-8 頁。

14 生涯教育と行政施策（答申・報告書等も含む）

I. 著 書

- ・岡本包治, 「出前講座研究会」ほか, 『ケースで学ぶ出前講座全 12 講』, 全日本社会教育連合会, 1-119 頁。

IV. 雑誌論文

- ・池木 清, 「情報処理教育の黎明期における県教委課長の取組」, 『教育関係資料』No2 日本橋女学館短期大学 1-13 頁。
- ・池木 清, 「『男女共同参画社会』考」, 『女子教育研究』第 20 号, 日本橋女学館短期大学, 13-24 頁。
- ・岡本包治, 「企業の社会貢献活動で開発した学習事業」, 『社会教育』第 52 巻第 9 号, 全日本社会教育連合会, 50-53 頁。
- ・岡本包治, 「生涯学習ボランティア養成事業と行政の役割・支援」, 『新しい風』No13, (財)実務教育研究所, 2-3 頁。
- ・岡本包治, 「別荘族の住民化を意図する学習事業」, 『社会教育』第 52 巻第 7 号, 全日本社会教育連合会, 46-49 頁。
- ・斎藤哲郎, 「国における生涯学習政策の展望」, 『日本生涯学習教育学会年報』第 18 号, 日本生涯教育学会, 3-20 頁。
- ・瀬沼克彰, 「地方自治体における生涯学習」, 『地方議会人』2 月号, 全国町村議会議長会, 18-22 頁。
- ・蛭田道春, 「『高齢社会に対応する教育の在り方』をめぐる - 中教審二次答申の内容から -」, 『学校経営』42 巻 8 号, 第一法規, 40-48 頁。

V. 編纂書論文

- ・浅井経子, 「一般行政と社会教育行政の連携」, 『社会教育主事のための生涯学習概論』, 国立教育会館社会教育研修所, 71-76 頁。
- ・浅井経子, 「社会教育行政の意義役割」, 『社会教育主事のための生涯学習概論』, 国立教育会館社会教育研修所, 65-70 頁。
- ・伊藤俊夫, 「関係法令と行政組織」, 『生涯学習概論』, 国立社会教育研修

所, 77-82 頁。

- ・伊藤俊夫, 「生涯学習関連施策の動向」, 『生涯学習概論』, 国立社会教育研修所, 29-34 頁。
- ・岡本包治, 「まちづくり出前講座論-住民の地域学習支援事業-」, 『生涯学習まちづくり出前講座資料集(平成9年)』, 国立教育会館社会教育研修所, 1-5 頁。
- ・澤野由紀子, “Lifelong Learning for Improving School Education in Japan?”, Michael Hatton Lifelong Learning Policies, Practices and Programs, APEC Publication, 186-200 頁。
- ・瀬沼克彰, 「余暇行政の現状と課題」, 日本レクリエーション協会編『余暇生活開発の考え方と進め方』, 日本レクリエーション協会, 8-22 頁。

VI. 調査報告

- ・瀬沼克彰, 「市政における余暇行政施策の実態」, 日本余暇文化振興会『全国の市政における余暇関連施策に関する調査研究』, 全国余暇行政研究協議会, 2-47 頁。

15 生涯教育の推進事例

II. 編 書

- ・山口 謙, 「あっちこっち出前講座の意義と今後の課題」, 岡本包治他編『ケースで学ぶ出前講座全12講』, 全日本社会教育連合会, 59-64 頁。
- ・山口 謙, 「梅とウミガメのまち“みなべ”は生涯学習のまち」, 福留強編『まちづくり 人づくり』, 学文社, 47-52 頁。

VI. 調査報告

- ・澤野由紀子, 「新居浜生涯学習大学-市民スタッフが運営する「市民の学校」へ向けて」, 『全国の市区町村における市民大学等の学習講座に関する事例研究』, (財)日本余暇文化振興会, 42-51 頁。

V. 編纂書論文

- ・安心院光義,『生涯学習に立った学社連携(融合)の在り方』, 大分県生涯学習学会

16 諸外国の生涯教育

I. 著 書

- ・金子忠史,「アメリカの大学入学担当事務局(Admission office)」, 大学進学研究会『大学進学研究』Vol.XIX-2, №103, 関西文理学院, 8-11 頁。

II. 編 書

- ・池田秀男(徐玉珠 訳),「日本の回流教育」, 中華民国成人教育学会編『回流教育』, 中華民国成人教育学会, 323-340 頁。

IV. 雑誌論文

- ・赤尾勝己,「アメリカの大学システムから日本を見る」,『情況』第2期第8巻第9号, 情況出版, 70-79 頁。
- ・出相泰裕,「高等教育におけるリカレント教育機能の受容に関する考察ーイギリス・オーストラリアのケースからー」,『日本社会教育学会紀要』№33, 日本社会教育学会, 94-101 頁。
- ・澤野由紀子,「生きる力をはぐくむ学習を重視ースウェーデンにおける生涯学習の基盤づくりー」,『内外教育』第4802号, 7-9 頁。
- ・山田礼子,「アメリカの高等教育政策とコミュニティ・カレッジ」,『高等教育ジャーナル』第2号, 北海道大学高等教育機能開発総合センター, 267-282 頁。
- ・山田礼子,「アメリカのプロフェッショナル・スクールにおけるカリキュラムと教授法: 職業人対象のビジネス・スクールを事例として」,『生涯学習研究年報』第3号, 北海道大学高等教育機能開発総合センター, 1-16 頁。
- ・山田礼子,「Analysis of the Role of Conlinuing Higher Education in the

United States」,『大学論集』第26集,広島大学,249-270頁。

V. 編纂書論文

- ・澤野由紀子,「生涯学習ネットワークの国際的動向」,『生涯学習ネットワーク化と学習ボランティア』,平成9年3月,国立教育研究所,7-17頁。
- ・澤野由紀子,「生涯学習の効果をめぐる国際的動向と市民大学への変容・ヨーロッパの場合」,田中雅文編『地域における生涯学習の効果に関する理論的・実証的研究』,国立教育研究所,208-225頁。
- ・澤野由紀子,「諸外国における生涯学習の歴史と動向」,『社会教育主事のための生涯学習概論』,国立教育会館社会教育研修所,56-61頁。

VI. 調査報告

- ・金子忠史,『学校と企業の連携に関する基礎研究—アメリカの中等教育を中心に—』 国立教育研究所,1-72頁。
- ・金子忠史,「米国の各分野の社会諸機関の青少年教育事業の概観~40の機関を中心に」,特別研究『学校と地域社会との連携に関する国際比較研究』中間資料集(Ⅱ),国立教育研究所,45-53頁。

17 そ の 他

I. 著 書

- ・根木 昭(枝川明敬・垣内恵美子・笹井宏益),『文化会館通論』,晃洋書房,1-238頁。
- ・野口正路,『悲歌(エレジー) ニッポニア・ニッポン』,土曜美術社出版販売,1-96頁。
- ・堀井啓幸,『教育環境論序説—現代教育の探究—』,教育出版,1-205頁。

II. 編 書

- ・末田 紘,「これからの社会とフィランソロピー」,斎藤清三編著『生涯学習論の新展開』,大学教育出版,161-206頁。

IV. 雑誌論文

- ・赤尾勝己,「生涯学習時代における同和啓発に関する一考察」,『部落解放研究』第114号,(財)部落解放研究所,63-73頁。
- ・根木 昭(垣内美恵子・枝川明敬),「英国における芸術支援政策の変遷とロイヤルオペラハウスの将来戦略」,『文化経済学会〈日本〉論文集』第3号,文化経済学会〈日本〉,79-83頁。
- ・根木 昭(岸本雅敏),「遺蹟の公園化と博物館の広域化及びそのまちづくりに関する意義」,『長岡技術科学大学研究報告』第19号,長岡技術科学大学,105-113頁。
- ・根木 昭,「芸術政策の流れ(1)(2)(3)」,『新潟県教育月報』平成9年4~6月号,新潟県教育委員会,22-24頁,50-52頁,20-22頁。
- ・根木 昭(枝川明敬・垣内恵美子),「芸術政策の構造的枠組の変遷」,『文化経済学会〈日本〉論文集』第3号,文化経済学会〈日本〉,103-107頁。
- ・根木 昭(根木 修),「新田と用水路に成立した魚類を中心とする小生態系と現代の農業用水路の改修によるその破壊と再生」,『長岡技術科学大学研究報告』第19号,長岡技術科学大学,141-150頁。
- ・根木 昭,「総合文化政策の必要性」,『芸術情報プラザニュースレター』第5号,(社)全国公立文化施設協会,8-9頁。
- ・根木 昭,「地方公共団体の文化政策の理念と政策展開の方向」,『文化経済学会年次大会予稿集1997』,文化経済学会〈日本〉,118-121頁。
- ・根木 昭,「長岡技術科学大学の英語によるプログラム」,『留学生交流』Vol.9 No.11,ぎょうせい,22-25頁。
- ・根木 昭,「美術館の活性化についての提言」,『文化庁月報』No.342,ぎょうせい,8頁。
- ・根木 昭(垣内恵美子),「文化事業に関する住民意識調査ー長浜市の例」,『文化経済学会年次大会予稿集1997』,文化経済学会〈日本〉,94-95頁。
- ・根木 昭,「文化施設立地の類型とその都市景観形成における意義」,『文化経済学会年次大会予稿集1997』,文化経済学会〈日本〉,150-153頁。

- ・ブストス・ナサリオ,「『流通モデル』による生涯学習機会提供システム」,九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学『生涯学習研究センター紀要』第2号,九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学生涯学習研究センター,27-35頁。

V. 編纂書論文

- ・浅井経子,「社会教育主事研修プログラムの現状と課題」,『社会教育主事のための研修の在り方と研修プログラム試案』,国立教育会館社会教育研修所,22-32頁。
- ・末田 紘,「企業の経営戦略と社会的責任-生涯学習の展開における一考察-」,中国四国教育学会編『教育学研究紀要』第43巻第1部,中国四国教育学会,285-290頁。
- ・山本恒夫,「社会教育主事研修の全体像」「研修プログラムの内容構造」,国立教育会館社会教育研修所編『社会教育主事のための研修の在り方と研修のプログラム試案』,国立教育会館社会教育研修所,17-22頁,33-42頁。

VI. 調査報告

- ・根木 昭,「各県の文化振興指針に見る文化政策の方向」,文部省科学研究費基盤研究報告書『文化政策による地域活性化の実態及び効果に関する総合的研究』,65-75頁。
- ・根木 昭(溝上智恵子),「高等教育のための基礎的調査研究」,『カシオ科学振興財団助成研究報告書』,69頁。
- ・根木 昭(垣内恵美子),「滋賀県長浜市における文化事業に関する住民意識調査」,文部省科学研究費基盤研究報告書『文化政策による地域活性化の実態及び効果に関する総合的研究』,45-62頁。
- ・根木 昭,「文化会館の課題と今後の在り方」,『平成8年度全国公立文化施設アートマネジメント研修会講義録』,(社)全国公立文化施設協会,117-128頁。